



“日本のインターネットの父、Mrインターネット”来校



2月3日（金）、“日本のインターネットの父”あるいは“Mr.インターネット”と称されている慶應義塾大学の村井純教授がお忙しい時間を割いて本校に来校され、1年B組の生徒に対して、「楽しいデジタル社会を創ろう！」というテーマで、特別講義をしていただきました。

今年度の1年生から高校でも新学習指導要領に移行し、新たに『情報Ⅰ』という科目が設けられました。今までの「情報」とは異なるため、その目的の理解や教える内容、教え方など様々な課題があり、多くの学校では手探りの状況です。そんな中、本校が文部科学省の委託事業対象校となり、今回の特別講義を実施することとなりました。

「なぜ、今情報を学ぶのか？」という根本的な問いに対して、軽快で分かりやすい説明をしていただき、生徒も先生の話を一言一句聞き漏らさぬようにと真剣にメモを取っていました。講義終了後の質疑応答でも活発な意見交換が行われ、単なる情報の活用だけでなく、情報を学ぶことは“夢を実現する、命と地球を守る”といった意義があること、また自分たちが気づいていなかったインターネットの可能性や有用性などについて理解を深めることができましたようです。なお、この講義の様子は、各都道府県教育委員会を通じて各校に周知されます。

知の探究発表会～2年理数科課題研究発表会～

1月31日（火）、上郷公民館において、今年度の「2年理数科課題研究発表会」を開催しました。3年ぶりの対面開催ということで、学校評議員や保護者をはじめ多くの方々に来場いただきました。各グループ（9グループ）は、これまで様々な実験や現地調査などを行いながら研究に取り組んできました。その研究成果を10分間という短い時間でプレゼンすることは、なかなか大変だったと思います。一定の結果を得られた研究、今後も継続的な取り組みが必要な研究など様々でしたが、自ら課題を設定して、仲間と協働しながら試行錯誤を繰り返し、探究してきた過程が大切にして今後の活かしてもらいたいと感じました。出席していた1年生理数科の生徒からも、各グループに対して鋭い？質問があり、来年度、課題研究に取り組む意識を高められたのではないかと思います。

なお、3月に信州大学理学部で行われる『信州サイエンスミーティング』に参加するのは、「四つ葉のクローバーの発生条件」をテーマに研究したグループでした。他校の発表から良い刺激を受けてきてもらいたいです。

